

やおの歴史遺産

たか やす せんづか

国史跡 高安千塚古墳群

～知ろう、歩こう～



平成27年3月10日
国史跡となりました！

八尾市教育委員会 文化財課
2018年



たかやすせんづかマスコット
はしづか君

至 八尾市立しおんじやま古墳学習館
(服部川駅から徒歩25分)

しおんじやま古墳を本拠地に
世界征服をめざしている
「ハニワゴングー」

至 愛宕塚古墳



- ★ …古墳見学会ポイント
- …古墳のある所
- 🏠 …横穴式石室の古墳
- ▲ …お寺・神社
- 🚻 …トイレ
- 🚧 …史跡の道
- 🚶 …ミラー

至 河内山本駅

歴史民俗資料館としおんじやま古墳の看板
大窪・山畑27号墳
服部川八幡宮
お店

佐麻多度神社
宝積寺
トイレあり
ブロック塀に古墳の看板

大窪・山畑39号墳

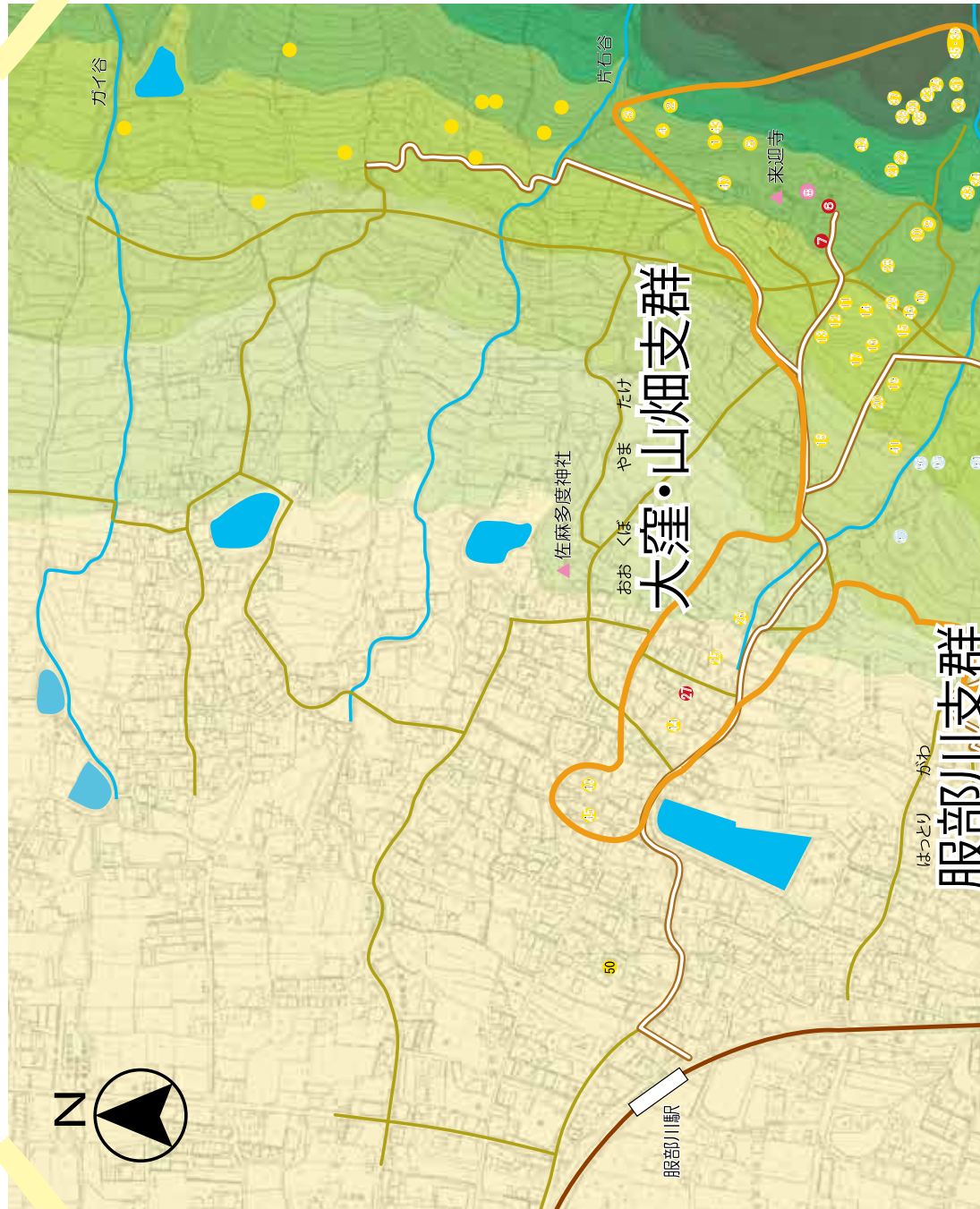
立石峠へ

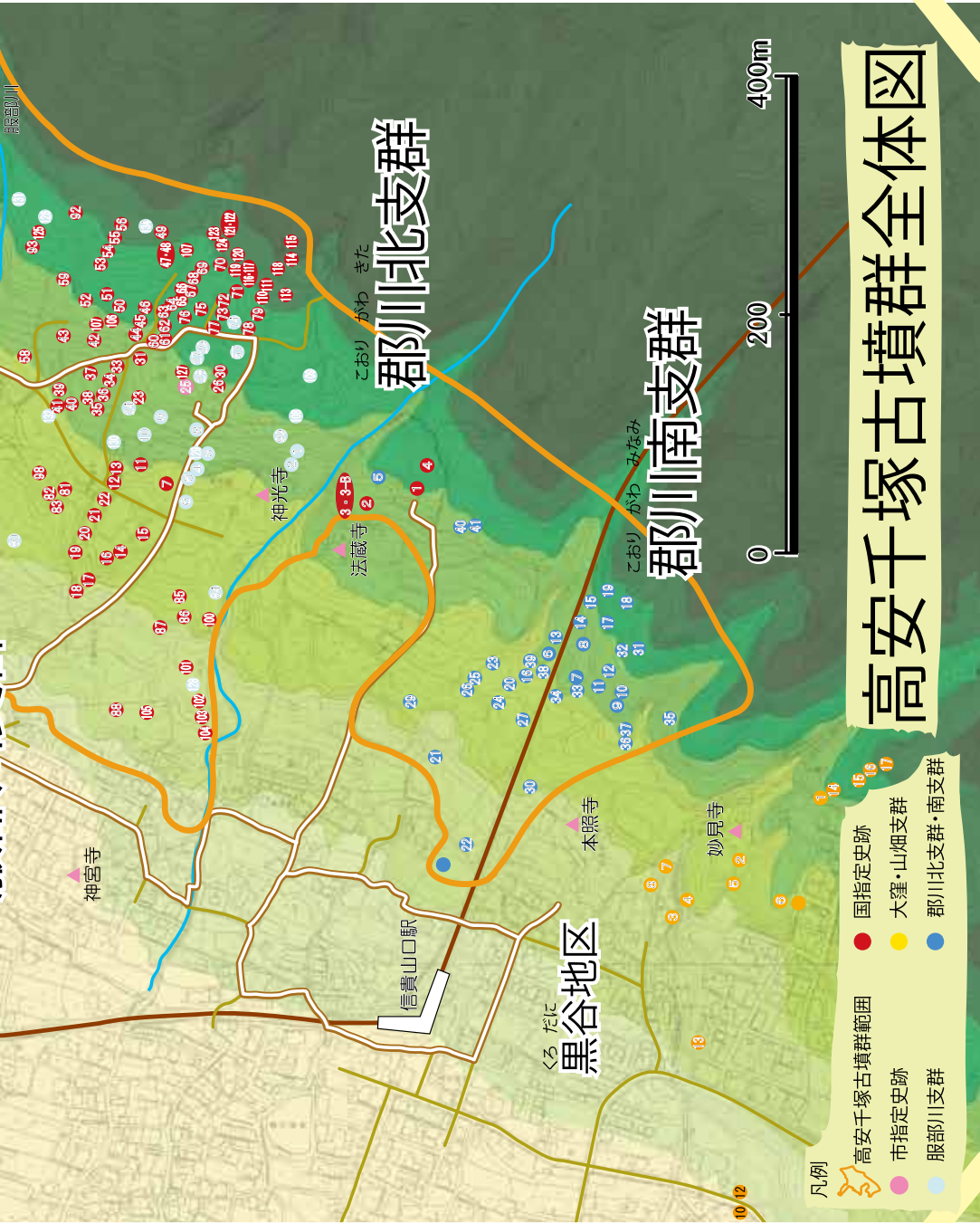
米迎寺

大窪・山畑8号墳
お泊くぼ・やまにけ ころふん

高安千塚古墳群とその周辺散策マップ

横穴式石室の大古墳群を歩いてみよう！





八尾の歴史遺産 高安千塚古墳群

-国史跡へのあゆみ-

- 江戸時代 河内名所図会に紹介される。
- 明治時代 E・S・モースやW・ガウランドが調査
- 大正時代 中河内郡誌に記載(540基) 確認
- 昭和30年代 白石太一郎氏による調査・研究
古文化財台帳のための八尾市教育委員会
沢井浩三氏による分布調査
- 昭和40年～ 大阪府教育委員会による調査
- 昭和61年～ 市民研究グループ“高安城を探る会”による分布調査
- 平成2年～ 花田勝広氏による石室実測調査
- 平成16年～ 八尾市教育委員会 詳細分布調査をはじめとする基礎調査開始
- 平成23年 八尾市教育委員会 高安千塚古墳群総括報告書刊行
- 平成27年 3月10日 国史跡指定

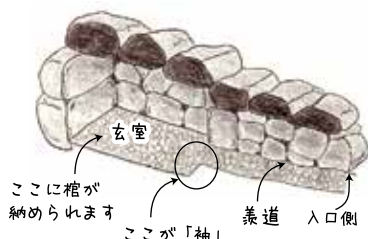


高安山と河内平野

やまねきの自然の中で未来に受け継いでいくため、八尾市では平成16年度から基礎調査を開始し、保存のとりくみを進めました。そして、平成27年に古墳群230基のうち、約半数にあたる110基、面積約6万3740㎡が国史跡に指定され、平成28年からは、高安千塚古墳群保存活用ボランティアを発足し、保全活動を進めています。

横穴式石室とは・・

棺を納める「^{ひら}玄室」と入口から玄室までの「^{みち}羨道」、玄室と羨道の間にある「^{うで}袖」で構成され、袖の造り方は、両袖式・片袖式・無袖式があります。高安千塚古墳群には、2つの石室をつなげた二室構造といわれる全国で類例のない形の石室があり、これらをつ造った人々の独自性と高度な技術が分かります。



横穴式石室の構造

—玄室—羨道—



両袖式



無袖式



特別な形
(二室構造)

玄室から見て、袖が
右か左かを見ます。



左片袖式



右片袖式

横穴式石室の種類

高安千塚古墳群一大窪・山畑支群一

(国史跡) 俊徳丸鏡塚古墳(大窪・山畑27号墳)

浄瑠璃や歌舞伎のお芝居で有名な俊徳丸の墓との伝承から、実川延若寄進の手水鉢や六代目尾上菊五郎寄進の灯ろう石など、有名な歌舞伎役者が寄進した石造物が残っています。

- ※隣家が近いので静かに見学してください。
- ※古墳の上にのぼらないでください。
- ※石室内は見学できません。
- ※懐中電灯必要。



俊徳丸鏡塚古墳
(6世紀後半・右片袖式)



拔塚
(7世紀前半・右片袖式)

(国史跡) 拔塚(大窪・山畑7号墳)

浄土宗来迎寺の境内にあり、現在、石室の羨道部分のみが残っています。玄室は失われているために、トンネル状になっています。使われている石材も大きく、高安千塚でも最大規模とみられます。

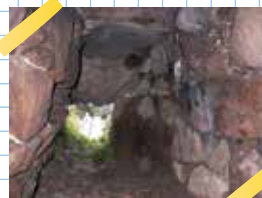
- ※墓地の中に立入らないでください。



(市史跡) 大窪・山畑8号墳

来迎寺の境内にある古墳で、玄室は縦長で、小振りの石を使用した古いタイプの石室です。

- ※懐中電灯必要。天井低いので頭上注意！
- ※墓地の中に立入らないでください。



大窪・山畑8号墳
(6世紀前半・右片袖式)

高安千塚古墳群—服部川支群—

はっとり がわ

(市史跡) ^{にしづか}二室塚古墳(服部川25号墳)

2つの玄室をつないだ構造で、全国的にも類例のない貴重なものです。「日本考古学の父」といわれる英国人研究者のガウランドが調査を行い、その時に撮影した写真のガラス乾板が大英博物館に所蔵されています。

※石組みが弱っていて危ないので、石室の外から見学してください。

※石室の中には入れません。



二室塚古墳
(6世紀後半・右片袖式)

(国史跡)服部川7号墳

石室内
見学OK



服部川7号墳
(6世紀後半・右片袖式)

高安千塚の片袖式石室の中では最大のものです(玄室面積約13㎡・8畳半)。米国人の博物学者E・S・モースが石室の入り口付近をスケッチした石室ではないかと考えられています。

※懐中電灯必要。天井低いので頭上注意！

(国史跡)服部川31号墳

墳丘の残りがよく、大きさがわかる古墳で、墳丘の径は16.6m、高さ4.8mあります。石室の中は見ることができませんが、石室の一部が露出しており、確認することができます。

※植木に注意して見学してください。



服部川31号墳
(6世紀後半・右片袖式)

(国史跡)服部川78号墳



服部川78号墳
(6世紀後半・右片袖式)

墳丘の残りが良く、盛り土の高さがよくわかる古墳です。玄室の大きさは、高安千塚では中規模のものです。

※植木畑の中ですので、敷地の外から見学してください。

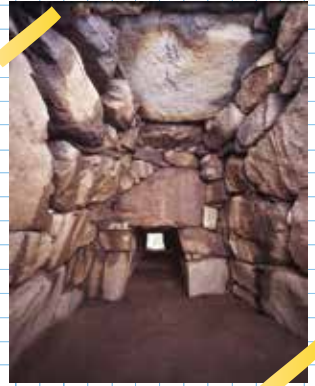
高安千塚古墳群こおりがわ—郡川支群—

石室内部
見学OK

(国史跡)かいざんづか開山塚古墳(郡川1号墳)<北支群>

そうどうしやうじ曹洞宗法蔵寺の境内にある古墳で、玄室の床面積は、15.7㎡(約10畳分)あり、高安千塚古墳群の中で最大規模です。この他に2号墳、3号墳、3-B号墳、4号墳があります。うち、4号墳には、法蔵寺を開いた好山和尚の廟塔である清涼塔がたっています。

※法蔵寺に声をかけてから、見学してください。
※懐中電灯が必要。天井が低く、羨道が長いので頭上に注意！



開山塚古墳
(6世紀中頃・両袖式)



開山塚左側壁



モースによる開山塚左側壁図

大森貝塚を発見した米国人の博物学者E・S・モースが調査し、スケッチを残した古墳としても有名です。

石室内部
見学OK

郡川30号墳<南支群>

にちれんしやうじ日蓮宗本照寺の境内にある古墳で、玄室の平面形状が正方形に近い形をしているのが特徴的です。

※妙道庵としてお祀りされていますので、本照寺に声をかけてから静かに見学してください。鳥居の奥の扉の中が石室です。



郡川30号墳
(6世紀後半・両袖式)

高安千塚古墳群の4つの重要性

重要性その1

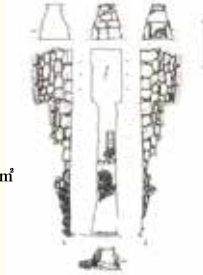
200基以上の横穴式石室が良好に残る近畿地方最大級の群集墳です。

現在230基を確認しています。北から大窪・山畑支群、服部川支群、郡川北支群、郡川南支群に分かれます。服部川支群では最も古墳が集中しています。石室は大和の大型石室に準ずる規模で、14.1㎡(畳9枚)以上が5基もあります。このことは、高安千塚に葬られた人々が、大きな力をもった有力氏族であることを示すものといえます。



玄室床面積15.3㎡
円墳・径24.7m

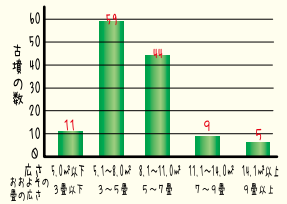
服部川43号墳(高安千塚)



平林古墳(奈良県)

石室の大きさくらべ

～高安千塚といわれる地域の石室の
大きさがわかる116基対象～



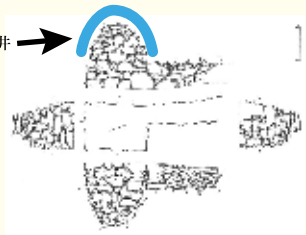
重要性 その2

河内の大型群集墳として、中河内地域の渡来系集団の様子をはじめ、日本の古代国家の成り立ちを考えるうえで、欠くことのできない遺跡です。



高安千塚古墳群から見た河内平野

ドーム状天井



韓式系土器



郡川16号墳の
石室と土器

ミニチュア炊飯具セット
(鍋+かまど)

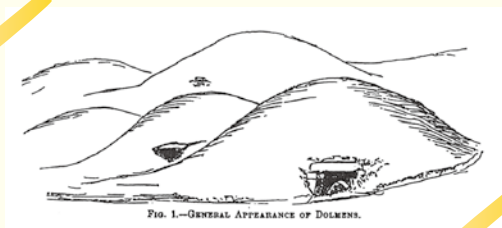
造墓開始頃は、朝鮮半島の影響を受けたドーム状天井の石室が作られます。また、朝鮮半島で作られた土器とよく似た韓式系土器やミニチュア炊飯具セットが出土しており、渡来系の人々の死者を葬るときの思いや考え方が石室や出土遺物からうかがい知ることができます。

重要性 その3

江戸時代には絵図に描かれており、明治時代には大森貝塚を発見した米国人博物学者のモースや日本考古学の父といわれる英国人ガウランド等によって、いち早く海外に紹介され、日本考古学の創成期に大きな役割を果たした遺跡です。



河内名所図会に描かれた高安千塚
(法蔵寺境内 郡川支群)



E・S・モース 1880「Dolmens in Japan」

重要性 その4

高安山の豊かな自然や植木畑の中で、良好な姿を残す横穴式石室墳が連なる独特の歴史的景観を有する古墳群です。

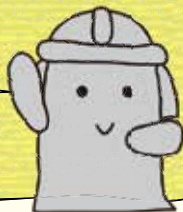


春の高安千塚(二室塚古墳付近)



秋の高安千塚(服部川62号墳付近)

はしづかくんからの
高安千塚古墳群を楽しく
見学するためのお願い&お約束



①見学のマナーについて

高安千塚古墳群にある古墳は、大部分が私有地にあります。紹介しているものは、所有者の方に了解をもらっていますので、見学する時は、古墳のまわりで育てられている植木や農作物などを、傷つけないようにしてください。

②見学できる古墳・できない古墳について

古墳の中には、石室がくずれかかっているものもあり、危険なところがあります。石室内を見学できる古墳は、この冊子で紹介していますので、それ以外の石室には、決して入らないでください。

③見学する時に注意すること

石室内を見ることができ古墳といっても、天井の高いものから低いものまで様々です。内部は真っ暗ですので、必ず懐中電灯を持って、頭上に注意して見学してください。石室の大きさを体感するためにメジャーを持っていき、他の古墳と比べてみてください。

④散策の時期と準備するもの

古墳群の散策は、山の中を歩くので虫やヘビなどもいて、特に夏は危険です。春や秋など、できるだけ気候のよいときに見学しましょう。服装や持ち物なども、きちんと準備してケガのないようにしてください。

【服装】 ぼうし・長そで
長ズボン・軍手
スニーカー

【持ち物】 懐中電灯
すいとう
キズテープ等薬
メジャー
カメラ・ごみ袋
この冊子



やおの歴史遺産 国史跡 高安千塚古墳群 ~知ろう、歩こう~

発行日 平成30年(2018) 3月2日

編集・発行 八尾市教育委員会文化財課

協力(地図作成・デザイン)

NPO法人 歴史体験サポートセンター楽古

印刷 (株)ぷりんと工房ヒロノ

〒581-0003 大阪府八尾市本町1-1-1

TEL 072-924-8555

八尾市刊行物番号 H29-182